

令和2年度グリーンスローモビリティの活用検討に向けた実証調査支援事業の 「実証調査地域」に「みなとオアシス門司港」が選定されました！

本年度、国土交通省の「グリーンスローモビリティ[※]の活用に向けた実証調査支援事業」に、北九州市の『みなとオアシス門司港における新しい生活様式に適應したグリーンスロー・ツーリズム実証事業』が選定され、実証調査を行うこととなりました。全国で本市を含めて6地域（応募数 20 地域）が採択されており、**国土交通省の実証調査事業によるグリーンスローモビリティの実証運行は県内初です。**

（令和2年9月2日 14時に国土交通省よりプレス発表がありました。（別紙1参照））

※ グリーンスローモビリティとは…時速 20km 未満で公道を走ることが可能な 4 人乗り以上の電動車両です。

【概要】 令和元年度に「みなとオアシス門司港（別紙2参照）」として登録されたエリアで、下記場所・日程でグリーンスローモビリティの実証運行を行います。

この実証調査は、昨年北九州港開港 130 周年を機に、西海岸・門司港レトロ地区の 16 の施設が、「みなとオアシス門司港」として登録されており、このエリアにおいて、新たなモビリティの導入や IOT の活用により、来街者の周遊性を高め、新しい生活様式に適應したグリーンスロー・ツーリズムの実現の可能性について検証するものです。このような新たな取り組みにより、みなとを核としたまちづくりを、より推進して参ります。

【実証運行期間】 令和2年 11 月中旬（予定）

※時期の詳細が決まりましたら、北九州市 HP 等にて公開します。

同時期には、「北九州港開港記念マンス」として様々な催事を予定しています。

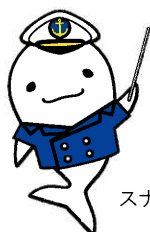
【運行エリア】 みなとオアシス門司港エリア（門司港レトロ地区・西海岸）



みなとオアシス門司港エリア



実証運行する低速電動バス（eCOM-8）



スナQ[®] 北九州港マスコットキャラクター「スナQ」

名 前：スナQ（スナキュー）
モデル：スナメリ
誕生日：11月15日
性 別：男の子

【問合せ】

北九州市港湾空港局
総務部 クルーズ・交流課
（担当：竹本、大浦）
TEL：(093) 321-5939

令和2年9月2日
総合政策局環境政策課

令和2年度 グリーンスローモビリティの活用検討に向けた実証調査支援事業の 「実証調査地域」を6地域選定しました！

環境への負荷が少なく、狭い路地も通行が可能で、高齢者の移動手段の確保や観光客の周遊に資するグリーンスローモビリティ（略称：グリスロ）の地域での活用に向け、地方自治体を対象に実証調査地域を募集したところ、20地域から応募があり、審査の結果、6地域を選定しました。今後、選定された地域において、本年秋頃から実証調査を行ってまいります。

※グリーンスローモビリティ…時速20km未満で公道を走ることが可能な4人乗り以上の電動パブリックモビリティ

提案者	事業名称
岩手県 陸前高田市	ノーマライゼーションという言葉の知らないまちづくりのための実証事業 【災害復興公営住宅と生活拠点・観光拠点間を結ぶ定路線型モビリティ】
茨城県 日立市	山側住宅地区内と周辺拠点を繋ぐ新たな移動手段づくり事業 【高齢化の進む団地内外における半デマンド型・定路線型モビリティ】
千葉県 千葉市	モノレール駅勢圏における地域と営む地域交通の確保に係る実証実験 【モノレールの2次交通としてグリスロを活用する地域主体の定路線型モビリティ】
千葉県 四街道市	地域のつながりを支援する次世代モビリティの導入実験事業 【高齢化の進む郊外住宅団地における定路線型モビリティ】
福岡県 北九州市	みなとオアシス門司港における新しい生活様式に適應した「グリーンスローツーリズム」実証事業 【点在する観光スポットの周遊性を向上させる定路線型モビリティ】
長崎県 西海市	超高齢化離島「江島」初の公共交通実現に向けたグリーンスローモビリティ実証調査事業 【離島住民の移動と観光スポットまでの移動手段を兼ねる定路線型モビリティ】



※写真は、前年度の採択地域での実証調査の様子

※グリーンスローモビリティの詳細については、こちらのページをご参考ください。

http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/environment/sosei_environment_fr_000139.html

【問い合わせ先】国土交通省総合政策局環境政策課 多田(24341)、杉山(24324)、内藤(24322)
TEL: 03-5253-8111 (代表) 03-5253-8263 (直通)
FAX: 03-5253-1550



令和元年10月30日
港湾空港局クルーズ・交流課

開港130周年記念！「みなとオアシス門司港」新規登録について

令和元年11月15日に「みなとオアシス門司港」（福岡県北九州市）が134箇所目のみなとオアシスに登録されます。発展を続ける「北九州港」において、地域住民の交流促進や地域の魅力の向上につながる取り組みを行います。

- 「みなとオアシス」とは、「みなと」を核としたまちづくりを促進するため、住民参加による地域振興の取組が継続的に行われる施設を国土交通省港湾局長が登録するものです。
- 「みなとオアシス門司港」の登録により、「みなとオアシス」は全国で134箇所、九州管内で18箇所となります。
- 11月16日（土）は「北九州港開港130周年記念式典」にて、「みなとオアシス登録証交付式」を開催するとともに、市民参加型のアートイベントや音楽ライブイベント、イルミネーション点灯式といった各種のイベントも開催されます。

みなとオアシス登録のメリット

- ① 国土交通省主導による全国への情報発信
- ② 市内インバウンド客の集客の大きなコンテンツとなること
- ③ 近隣の「みなとオアシス下関」も含めた関門地区の周遊人口の増加
- ④ さらには、全国約130ある「みなとオアシス同士」の連携による、交流人口の増加。など、にぎわいを介して経済波及効果が期待できる。

【代表施設】



旧大連航路上屋

【登録施設（一例）】



旧門司税関



JR 門司港駅

※ 「みなとオアシス門司港」の詳細については、別紙1をご参照願います。

※ 上記イベントを取材いただける方は、会場のスペース確保のため、

11月8日（金）16時までに取材申込書（別紙・申込書）のご提出をお願いします。

【問合せ先】 港湾空港局クルーズ・交流課：係長 竹本、課長 大浦
TEL：093-321-5939 FAX：093-321-5915